



ふくしの森ステーションあがの だより

A Tender Heart
あがの

令和6年
11月号

開所日 原則、火～金（祝のぞく） 時間 9:15～16:15
所在地 吾野186番地1（吾野地区行政センター内）
電話 070-7792-2433 / ファクス：042-973-8941
メール station-agano@hannosyakyu.or.jp
※ふくしの困りごと、お気軽に相談ください！

災害が起きたときに、社協は何をするの？ ～災害ボランティアセンターについて～

近年、全国各地で痛ましい災害が頻発しています。石川県では能登半島を中心に地震災害（1月）、豪雨災害（9月）が発生したことが記憶に新しいところです。大きな災害が発生したとき、被害を受けた地域で「支援が必要な人」と、「ボランティア活動を行いたい人」を繋ぐため、被害を受けた市町村社協が災害ボランティアセンターを設置します。また、大規模災害の場合は全国各地の社協職員が応援のため派遣されます。

災害ボランティアセンターには↓の役割があります。

- ①被災者への支援
ボランティアの活動を通して生活再建を支援します。
- ②ボランティアの募集と調整
被害を受けた地域の需要に合わせて、ボランティアを募集し、活動内容や場所などを調整します。
- ③ボランティアへの情報提供
ボランティア活動に必要な情報（活動内容、持ち物、交通手段など）を提供します。
- ④地域社会との連携
行政、企業、地域住民などと連携し、より効果的な支援活動を行います。



地震で内部が散乱した蔵から物資を搬出

例えば“地震災害”と“豪雨災害”で必要な支援は異なります。



豪雨で駐車場に堆積した泥のかき出し



能登半島の地震災害（派遣直前に豪雨災害も発生）に際して、本会からも職員1名を「輪島市災害たすけあいセンター」運営支援のため派遣しました。詳しくは社協だより12月号へ掲載しますのでぜひご覧ください。また、社協では毎年「災害ボランティアセンター運営訓練」を実施しています。詳しくはふくしの森ステーションあがのまでお問い合わせください。